



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月5日

上場会社名 オリコン株式会社
 コード番号 4800 URL <https://www.oricon.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 企業広報部長
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日

上場取引所 東

(氏名) 小池 恒
 (氏名) 山口 幸作

TEL 03-3405-5252

配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,958	7.0	486	13.7	475	14.0	488	38.5
2020年3月期第2四半期	2,106	12.5	563	50.4	553	51.3	352	52.8

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 481百万円 (43.1%) 2020年3月期第2四半期 336百万円 (45.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	35.37	
2020年3月期第2四半期	25.58	25.35

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	4,000	3,258	81.5	235.73
2020年3月期	3,857	3,005	77.9	217.71

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 3,258百万円 2020年3月期 3,004百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		17.00	17.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,300	3.1	1,100	0.8	1,200	3.3	780	1.9	56.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	15,123,200 株	2020年3月期	15,123,200 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,299,826 株	2020年3月期	1,321,281 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	13,817,978 株	2020年3月期2Q	13,793,182 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により個人消費や企業活動が停滞し、景気は厳しい状況で推移しました。2020年4～6月期の国内総生産(GDP)成長率が2020年1～3月期比で実質7.9%減(年率換算で28.1%減)と発表されて以降、経済活動再開に伴う個人消費の持ち直しの動きが見られるものの、本格的な景気回復に向かう動きは鈍く、国内経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

国内の情報通信分野においては、日経広告研究所が2020年度の国内のインターネット広告費は2019年度比で0.5%増になるとの見通しをまとめ、次世代通信規格「5G」の商用化など通信環境の進展で動画広告へのシフトが進み、他の広告媒体が伸び悩むなかで拡大が予測されております。

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、従業員の在宅勤務や時差出勤等による対策を講じました。当社グループの顧客においても、テレワークの実施や対面による営業活動の自粛が相次いだほか、イベントの中止等による案件の失注、広告の出稿停止等により、当社グループの業績にマイナスの影響が出ております。具体的には、コミュニケーション事業は4～9月の累計で約170,000千円の売上高が押し下げられ、利益にも同程度の影響が及んでおります。内訳は4～6月で約105,000千円、7～9月で約65,000千円となりました。

このような状況の下、当第2四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、次のようになりました。

売上高は、コミュニケーション事業が新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて前年同期比で減収となり、データサービス事業は前年同期比で増収、モバイル事業は前年同期比で減収、雑誌事業は事業撤退に伴い前年同期比で減収となりました。この結果、全体では前年同期比148,350千円減(7.0%減)の1,958,561千円となりました。

費用面では、売上原価はコストの見直しにより前年同期比110,651千円減(13.6%減)、販売費及び一般管理費は人件費の増加等により前年同期比39,692千円増(5.4%増)となりました。

以上の結果、営業利益は前年同期比77,391千円減(13.7%減)の486,591千円、経常利益は前年同期比77,412千円減(14.0%減)の475,738千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券売却益等の特別利益を計上し前年同期比135,814千円増(38.5%増)の488,707千円となりました。

当第2四半期連結累計期間の報告セグメントごとの状況は、以下の通りであります。

① コミュニケーション事業

ニュースコンテンツの提供並びにWEBサイトの制作・運営・広告販売等を行うコミュニケーション事業では、「顧客満足度(CS)調査事業」と「ニュース配信・PV事業」を展開しております。

顧客満足度(CS)調査事業の売上高は、前年同期比で4.7%増加しました。ランキング数の増加とともに商標利用やWEBプロモーションが増加しました。一方で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、一部の企業における商標利用の絞り込み等により、4～9月の累計で約27,000千円の売上高が押し下げられました。

ニュース配信・PV事業の売上高は、前年同期比で4.5%減少しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、各種イベントやプロモーションが中止・延期となり、企業からのタイアップ広告の出稿などが減少したことにより、4～9月の累計で約143,000千円の売上高が押し下げられました。一方で、自社メディア「ORICON NEWS」のページビューは7～9月の直近3か月実績で前年同期と比べ約28%増加し、4～6月の前四半期と比べても約8%増加しました。また、公式

YouTubeチャンネル「ORICON NEWS」では8月にチャンネル登録者数が100万人に到達し、再生数も順調に増加しており、エンタテインメント分野を代表する有力なチャンネルとしての地位を確立しております。

以上の結果、コミュニケーション事業全体の売上高は前年同期比3,557千円減(0.3%減)の1,322,660千円、セグメント利益は前年同期比29,381千円減(3.8%減)の739,488千円となりました。

②データサービス事業

音楽ソフト・映像ソフト・書籍のマーケティングデータを提供するオンラインサービス「ORICON BiZ online」を中心に、当社グループが保有するエンタテインメント関連データを活用したビジネスを展開しております。売上高は、前年同期比4,239千円増(1.3%増)の330,772千円、セグメント利益は前年同期比17,309千円増(16.4%増)の123,049千円となりました。

③モバイル事業

フィーチャーフォン向け事業の売上高は、市場全体の縮小により前年同期比で16.9%減少し、スマートフォン向け事業は競争激化等により前年同期比で6.3%減少しました。

以上の結果、モバイル事業全体の売上高は前年同期比38,836千円減(11.3%減)の305,129千円、セグメント利益は前年同期比29,433千円減(17.0%減)の143,272千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,000,700千円となり、前連結会計年度末と比べ143,036千円増加しました。これは主に現金及び預金の増加によるものです。

負債合計は742,125千円となり、前連結会計年度末と比べ110,529千円減少しました。これは主に支払債務の減少によるものです。純資産合計は3,258,574千円となり、前連結会計年度末と比べ253,565千円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益488,707千円を計上し、配当金234,632千円の支払等によるものです。

これにより自己資本比率は81.5%となり、前連結会計年度末と比べ3.6ポイントの上昇、前第2四半期連結会計期間末と比べ5.7ポイントの上昇となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ224,154千円増加し2,384,275千円となりました。

営業活動により増加した資金は275,521千円(前年同期は392,945千円の増加)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益731,497千円、減価償却費58,798千円、投資有価証券売却益255,590千円、法人税等の支払額251,554千円等によるものです。

投資活動により増加した資金は195,606千円(前年同期は130,050千円の減少)となりました。これは主として、投資有価証券の売却による収入、固定資産の取得による支出等によるものです。

財務活動により減少した資金は246,973千円(前年同期は490,878千円の減少)となりました。これは主として、配当金支払等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月11日に公表いたしました通期の連結業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,160,121	2,384,275
受取手形及び売掛金	574,343	508,419
商品及び製品	5,214	4,572
仕掛品	488	488
その他	205,025	216,163
貸倒引当金	△1,270	△1,194
流動資産合計	2,943,922	3,112,725
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,869	23,711
工具、器具及び備品(純額)	145,276	139,781
土地	1,973	1,973
有形固定資産合計	172,119	165,466
無形固定資産		
ソフトウェア	144,841	150,636
その他	27,584	14,714
無形固定資産合計	172,426	165,350
投資その他の資産		
投資有価証券	106,313	92,780
その他	469,268	471,088
投資損失引当金	△4,900	△4,900
貸倒引当金	△1,920	△1,920
投資その他の資産合計	568,760	557,048
固定資産合計	913,306	887,865
繰延資産	434	108
資産合計	3,857,663	4,000,700
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,434	10,785
短期借入金	100,000	100,000
1年内償還予定の社債	40,000	20,000
未払法人税等	257,523	243,601
その他	434,697	367,738
流動負債合計	852,654	742,125
負債合計	852,654	742,125

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,092,450	1,092,450
利益剰余金	2,416,817	2,668,342
自己株式	△571,552	△562,296
株主資本合計	2,937,715	3,198,496
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67,069	60,077
その他の包括利益累計額合計	67,069	60,077
新株予約権	223	—
純資産合計	3,005,008	3,258,574
負債純資産合計	3,857,663	4,000,700

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	2,106,912	1,958,561
売上原価	811,590	700,938
売上総利益	1,295,321	1,257,622
販売費及び一般管理費	731,338	771,031
営業利益	563,983	486,591
営業外収益		
受取利息	93	78
未払配当金除斥益	558	679
保険配当金	672	678
その他	265	57
営業外収益合計	1,589	1,493
営業外費用		
支払利息	945	514
株式関連費	7,455	7,428
支払手数料	1,272	4,185
投資事業組合運用損	2,414	—
その他	334	218
営業外費用合計	12,421	12,346
経常利益	553,151	475,738
特別利益		
投資有価証券売却益	—	255,590
新株予約権戻入益	—	202
特別利益合計	—	255,792
特別損失		
固定資産除却損	418	34
特別損失合計	418	34
税金等調整前四半期純利益	552,733	731,497
法人税、住民税及び事業税	188,872	235,759
法人税等調整額	10,968	7,030
法人税等合計	199,840	242,789
四半期純利益	352,892	488,707
親会社株主に帰属する四半期純利益	352,892	488,707

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	352,892	488,707
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,166	△6,992
その他の包括利益合計	△16,166	△6,992
四半期包括利益	336,726	481,714
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	336,726	481,714
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	552,733	731,497
減価償却費	55,989	58,798
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△26	△76
受取利息及び受取配当金	△93	△78
支払利息	945	514
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△255,590
売上債権の増減額(△は増加)	2,409	64,815
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,181	641
仕入債務の増減額(△は減少)	△99	△9,648
その他	△28,141	△63,420
小計	585,897	527,452
利息及び配当金の受取額	93	78
利息の支払額	△947	△454
法人税等の支払額	△192,098	△251,554
営業活動によるキャッシュ・フロー	392,945	275,521
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△80,826	△27,235
無形固定資産の取得による支出	△48,531	△35,606
投資有価証券の売却による収入	—	257,733
その他	△692	713
投資活動によるキャッシュ・フロー	△130,050	195,606
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△25,000	—
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
ストックオプションの行使による収入	—	6,729
自己株式の取得による支出	△281,848	△43
配当金の支払額	△166,690	△233,658
その他	2,660	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△490,878	△246,973
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△227,983	224,154
現金及び現金同等物の期首残高	1,913,907	2,160,121
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,685,923	2,384,275

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	コミュニケーション	データサービス	モバイル	雑誌	計	
売上高						
外部顧客への売上高	1,326,217	326,532	343,966	110,195	2,106,912	2,106,912
セグメント間の内部売上高又は振替高	42,000	—	—	—	42,000	42,000
計	1,368,217	326,532	343,966	110,195	2,148,912	2,148,912
セグメント利益	768,870	105,740	172,705	8,394	1,055,710	1,055,710

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,055,710
セグメント間取引消去	26
全社費用(注)	△491,753
四半期連結損益計算書の営業利益	563,983

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	コミュニケーション	データサービス	モバイル	計	
売上高					
外部顧客への売上高	1,322,660	330,772	305,129	1,958,561	1,958,561
セグメント間の内部 売上高又は振替高	42,200	—	—	42,200	42,200
計	1,364,860	330,772	305,129	2,000,761	2,000,761
セグメント利益	739,488	123,049	143,272	1,005,810	1,005,810

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,005,810
セグメント間取引消去	76
全社費用(注)	△519,294
四半期連結損益計算書の営業利益	486,591

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。